

## 下関市地域連携教育自主学習会

9月10日（火）18時から19時半まで、教育センターで上記の自主学習会（オンラインを含む）を開催しました。これは、地域連携教育についてもっと他の学校・地域の情報を知りたいという地域学校協働活動推進員の方々の声を受けて実施したものです。今回はこの学習会について紹介します。次回の自主学習会は、11月中旬に開催予定です。

### 事例発表① 「夏休み防災デイキャンプの実現について」（15分）

（下関市立川中西小学校 学校運営協議会会長 阪本正春氏）

→学校運営協議会が主催の防災デイキャンプをいかにして実現させたのかについて、非常に分かりやすく説明していただきました。意識されたのが、「子供たちが防災について楽しく学べるイベントに」「強制ではなく有志のメンバーで」「運営する側も楽しく」の3点だったそうです。「学校運営協議会」の子供たちへの熱い思いがひしひしと伝わってきました。

### 事例発表② 「川中中校区の地域学校協働活動について」（15分）

（下関市立熊野小学校 地域学校協働活動推進員 藤附理恵子氏）

→大規模の川中中校区（川中中・川中小・熊野小）における三校合同学校運営協議会での情報共有のとり方や、熊野小推進員として、くまの応援隊、おやじの会、あい♥くまの食堂、自治会との連携による魅力ある取組の推進について沢山の写真を提示しながら紹介してくださいました。また、この夏実施された「そうめん流し大会」に向けて、企画から運営に至るまでのお話は、地域連携教育の醍醐味が凝縮されている内容でした。

### 情報交換 「我が学校・地域の地域連携教育について」（60分）

3つの視点（推し・課題・もっと知りたいこと）を基に4人グループで話し合いました。話題は、学運協、熟議、人材発掘、予算の使い方、やりがい、他組織との連携など多岐にわたり、熱心に語り合えた時間となりました。この情報交換・情報共有の時間の重要性を改めて感じました。最後に感想を紹介します。



オンラインの様子



情報交換会の様子

- 活動の企画・運営、進め方の具体的な話を聞くことができ勉強になりました。まち協との関わりを模索してみます。（推進員）
- つながりとやりがいを学校・家庭・地域が感じながら進めていくためには、学校として関わりやすい姿勢が大切であり、困ったことややりたい事を相談できる関係性を築くことが大切。（教員）
- 学運協のメンバーの理解が重要。地域連携教育を教員が変わっても継続できる環境づくりを皆で考えていきたい。（学運協委員）

「わくわく地域連携教育だより」は、生涯学習課HPにもアップしています。

ご意見・ご感想がある方は、以下のメールへお送りください。

shinnai.toshimasa@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

